

金日成主席の革命的生涯

ネパール朝鮮友好協会会員
ファニンドラ・ラージ・パント

1912年4月15日、朝鮮民主主義人民共和国の首都平壌の万景台で父の金亨稷キンバンソク先生と母の康盤石女史の長男として、革命的で愛国的な家庭で誕生した金日成主席の革命的生涯は、それ自体が朝鮮の歴史であるといえます。

世界史のどのページにも金日成主席のような革命的な偉人を記録していません。

金日成主席の賢明な指導のもとに、朝鮮は1945年8月15日、日本の軍事的占領から解放され、1948年9月9日、朝鮮民主主義人民共和国が創建されました。

1950年6月25日から1953年7月27日までの朝鮮戦争の過程に、アメリカ主導下の数多くの追随国軍隊の朝鮮民主主義人民共和国に対する大規模の攻撃は挫折されました。

国際社会で共和国の名声は日増しに高まり、1970年代に至って66の諸国と外交関係を樹立しました。

わが国ネパールも1974年5月15日、共和国と外交関係を樹立しました。

金日成主席は1926年10月17日、「打倒帝国主義同盟」を結成し、1930年6月30日に卡倫で開かれた共青および反帝青年同盟の幹部会議で武装革命の革命的路線を提示し、朝鮮革命の主体的進路を明らかにしました。

金日成主席は父の金亨稷先生から大きな影響を受けました。

金日成主席は金亨稷先生から2挺の拳銃と志遠の思想、同志獲得の思想を遺産として譲り受けました。

その時から、限りない愛国心を持つ金日成主席の革命的生涯が始まりました。

金日成主席はいつも人民を天のごとくみなしました。

金日成主席はいつも愛と信頼の政治を施しました。

まさにそういうことにより、人民は金日成主席を自分の父よりもっと愛し、心の中にいつまでも頂こうとしたのです。

人民の願いを察した金正日総書記は、錦繡山議事堂を錦繡山記念宮殿に、チュチエの最高聖地として新たに整備し、金日成主席を生前の姿で戴くようにしました。

金日成主席は国と人民のための道で一瞬の休息もなしに献身しました。

革命の道に身を投じた当初から、金日成主席の生涯は、国と人民のための精力的な闘いの連続でした。

金日成主席は人民の幸せのために生涯を尽くしました。

祖国解放後、金日成主席は8,650日にわたって578,000キロの道のりを歩みながら全国各地を訪れ、人民と喜びと悲しみを分かち合いました。

金日成主席は自國人民だけでなく、平和と独立、繁栄のためにたたかい、支配者に反対してたたかう世界の人民を愛し、支援しました。

金日成主席は彼らを物心両面から助け、支援しました。

金日成主席は生涯を通して54回にわたって520,000キロメートルに及ぶ距離を走り、87カ国を訪問しました。主席は120人の国家元首と206名の党首、76名の政府首班を含めて70,000人余りの外国の人士に会い、世界の自主化のための精力的な活動を行い、他国人民の反帝反ファッショ闘争を積極的に支持しました。

これについて世界の人民は、金日成主席に最大の敬意を表しました。

100余カ国の480の街と機構、単位と学校、大学が金日成主席の尊名を冠し、30カ国が金日成主席に名誉市民称号を授与し、70余カ国と国際機構が180余の最高勲章とメダルを授与しました。

172カ国の国家、党および政府の指導者と各階層の人士が金日成主席に166,065点の贈り物を送り、金日成主席が逝去した後も依然として贈り物と名誉称号、勲章を金日成主席に差し上げています。

世界各地から金日成主席に贈ったすべての贈り物と名誉称号、金日成主席の革命的生涯と関連したものが妙香山にある国際親善展覧館に保存されています。

金日成主席の逝去20周忌以後、国連をはじめ190カ国で朝鮮民主主義人民共和国に弔文を送りました。

120カ国の政党や国家、高位人士、国際機構と友好団体、そしてチュチュ思想研究所など、3,000余件の弔文を送り、多くの通信・報道が大きな関心と悲しみを表し、朝鮮革命の大きな喪失について速報で同時に報道しました。

金日成主席の著作は、108カ国で63の言語に翻訳されました。

金日成主席の一生を詳しく語る主席の有名な著作「世紀とともに」も各国の言語に翻訳されています。

金日成主席の革命的生涯は、それ自体が朝鮮の歴史です。

金日成主席の一生は朝鮮人民だけでなく、世界の平和愛好人民と進歩的人民

の心の中に生きづけ、進歩的人民の敬慕と尊敬を受けるでしょう。

アメリカの前大統領ジミー・カーターまで金日成主席に強く魅せられていました。

朝鮮民主主義人民共和国を訪問して金日成主席に会った後、彼はソウルで次のように話しました。

「金日成主席は賢明で胆大であり、また各分野に対する該博な知識を持っている。金日成主席は優れた人格を持っており、ジョージ・ワシントン、トマス・ゼパソン、アブラハム・リンカンをみな合わせたよりもっと偉大な方である」これは世界の指導者が金日成主席をいかに評価するかをよく物語っています。

全朝鮮人民の切な念願を反映して金正日総書記は、金日成主席が誕生した年である1912年からチュチェ年号が始まり、金日成主席の誕生日である4月15日を太陽節に慶祝し、金日成主席を朝鮮民主主義人民共和国の永遠なる主席としていただくようにして、金日成主席に対する民族の最大の敬意を表するようにしました。

胸の痛む民族の父の逝去の後、悲しみを力に変えた朝鮮人民は、朝鮮労働党の導きの下、「金日成主席の革命思想でしっかり武装しよう!」というスローガンを掲げて前進しました。

金日成主席は人類の明るい太陽であり、いつもわれわれとともにおられます。